



JA兵庫南 自己改革プログラム(集約版)

農業者の所得増大・農業生産の拡大

生産コストの低減

- ① コスト低減に向けた試験研究の実施
- ② 経営分析によるコストの検証
- ③ 生産資材コストの引き下げ
- ④ 生産性の向上

販売力の強化

- ① 需要に見合った作付け計画の作成
- ② 多様な販売先の開拓
- ③ 地域ブランド力の強化
- ④ 加工品の販売促進

生産力の規模拡大

- ① 作付け品目の増加
- ② 作付け面積の拡大
- ③ 生産者の育成

担い手づくり

- ① 営農組合の運営支援
- ② 新規就農者の育成
- ③ 青壮年活動の支援

取り組みを通じて

販売品販売高 41.5億円(平成31年度)

野菜重点品目の作付け面積 101ha(平成31年度)

(キャベツ・ブロッコリー・スイートコーン・タマネギ・レタス)

を達成します!

地域の活性化

組合員組織の活性化と強化

- ① 女性会活動の充実
- ② 次世代につなぐ組合員組織づくりの強化
- ③ 高齢者・子ども見守り活動の展開
- ④ 支店・事業所ふれあい活動の積極展開
- ⑤ 利用者懇談会の充実

食農教育活動の充実

- ① ふぁ～みん食農支援金の充実
- ② ちゃぐりんスクールの充実
- ③ キッチンスタジオ料理教室の実施
- ④ 農業体験イベントの実施
- ⑤ 果樹園の開設

取り組みを通じて

地域の活性化に貢献

します!

JA兵庫南自己改革の取り組みに関する報告

1.自己改革の考え方について

農業とJAを取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化の進展、耕作放棄地の増加等、課題が山積しております。さらには、政府による農協改革と、それに伴う農協法の改正は、JA組織運営にかつてない大きな変革を求めています。

このような厳しい環境の中、当JAは、「協同組合」としての使命を果たしていくため、地域の実態やこれまでの取り組みの課題をしっかりと踏まえた上で、自己改革を着実に進めて行くことが重要であると考えています。

2.JA兵庫南における自己改革の取り組みについて

JA兵庫南では、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として「持続可能な農業」と「豊かで暮らしやすい地域社会」を実現するため、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標として掲げ、総合事業を堅持しながら「自己改革」に取り組んでまいります。

JA兵庫南では平成28年10月1日に、常勤役員・室部長をメンバーとするJA兵庫南自己改革推進委員会を発足させました。この委員会は、組合長直属の委員会として機構上にも明確に位置付けました。また、委員会を支える組織として若手職員10人からなるワーキンググループを併せて立ち上げました。

3.今後の取り組みについて

第7次地域営農振興計画を「JA兵庫南自己改革プログラム」と位置付け、さらに第7次中期経営計画(平成29年度～31年度)や単年度の事業計画の中にも織り込み、実績管理の中で重点的に進捗管理を行い、着実に実践してまいります。今後、組合員の皆様と共に話し合いながら自己改革を進めてまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

第7次中期経営計画 (平成29年～平成31年)

メインテーマ

『農業の活性化と豊かな地域社会をめざし、創造的自己改革への挑戦!』

職員行動規範

『感謝・挑戦・自律』

(常に感謝の念を持ち、何事にもチャレンジの姿勢を忘れず、自ら考え責任ある行動をします)

基本方針

- ①「持続可能な農業の実現」
- ②「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」
- ③「協同組合としての役割発揮」